

富士見市文化芸術振興委員会第5回会議録

日時	平成25年12月6日(金) 18:30~20:45
会場	富士見市役所 市長公室
出席者 (欠席者)	<p>■委員(順不同・敬称略) 加藤 健司、秋元 節子、氣賀澤 明子、小倉 洋一、佐藤 公誠、 小塚 茂、増岡 昭、稲村 松美、野村 東央留、山崎 咲子、羽石 裕子</p> <p>■学識経験者 東京大学大学院 准教授 小林 真理</p> <p>■事務局 市川地域文化振興課長、中嶋副課長、大下主事補</p> <p>《欠席者》</p> <p>■委員(順不同・敬称略) 吉田 英穂、吉川 節男、富田 實</p>
会議内容	<p><第5回文化芸術振興委員会></p> <p>1 開 会 地域文化振興課 中嶋副課長</p> <p>2 あいさつ 加藤委員長</p> <p>3 議事 (1) 文化芸術振興基本計画 事務局素案の確認・検討について 事務局より、事前に送付した文化芸術振興基本計画の素案の修正点を説明し、委員と東京大学大学院小林真理先生に意見を伺った。</p> <p>(委員からの提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業をマネジメントできる市民の人材育成について記述して欲しい。(明石市文化振興計画アートマネジメントの担い手の育成を参照してはどうか) ・ 基本目標の1には、地域づくりという考え方を表記して欲しい。 ・ 人を育てる→「はぐくむ」。みらいを担う→「時代を築く」とした方がわかりやすい。 ・ コーディネイト機能は重要だが、人材育成の課題を表記すべき。 ・ 「市民の創造活動の促進」を具体的に記述して欲しい。郷土芸能のアーティストバンクの記載に留まっているので、施策の取りくみや、広い意味でのアーティストバンクについて記述してはどうか。

- ・ 地域の文化資源の活用について、郷土芸能に限らず、公園、緑、各施設、自然など広く捉えられる表現にしてはどうか。

(学識経験者 小林真理先生からの提案)

①この計画には大きく2つの意義があると思う。

A. この計画によって、いままで蓄積されてきた富士見市の文化芸術施策（例えばキラリの先進的な事業運営など）や市民の文化芸術活動の継続性が保証されること

B. この計画によって、公的予算を使った富士見市の文化芸術の推進体制の新しい組織づくりの一助となること

②キラリふじみについて

キラリふじみの記述を充実させるべきである。今までやってきたこと、キラリふじみの特色を記載してはどうか。例えば文化芸術振興の富士見市の拠点として発信してきたことや、市民がキラリをベースに活動してきたこと等の地域に果たしてきた役割を記述してはどうか。さらに、これからのキラリふじみの役割として他の施設や団体とのネットワーク拠点としての役割を加えるべきである。

③ 表現・記述

人材育成の部分に中間人材育成について記述してはどうか。

(2) 今後の流れについて

今後の流れについて、事務局より説明を行った。

12/17 庁内委員会

⇒ 案の作成

1/16 振興委員会開催（予定）

1/23 庁内委員会（予定）

1/30 振興委員会開催（予定）

2/ 政策会議（2回）

2/ 振興委員会

3/1 講演会

3/17～4/17 パブリックコメント実施

5/ 振興委員会開催 最終確認・報告

4 その他

特に無し

5 閉 会 秋元副委員長

第5回富士見市文化芸術振興委員会 次第

日時 平成25年12月6日(金)

18時30分～

場所 市役所2階 市長公室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 文化芸術振興基本計画 事務局素案の確認・検討について

(2) 今後の流れについて

12/17 庁内委員会

⇒ 案の作成

1/16 振興委員会開催(予定)

1/23 庁内委員会(予定)

1/30 振興委員会開催(予定)

2/ 政策会議(2回)

2/ 振興委員会

3/1 講演会

3/17～4/18 パブリックコメント実施

5/ 振興委員会開催 最終確認・報告

4 その他

次回会議 日時：平成26年1月 日() 時 分～

会場：

5 閉 会